

「情報公開文書」

単施設研究用

研究課題名: 心臓血管外科医不在施設での術中肺動脈損傷に対するトラブルシューティングの検討

1. 研究の対象

2019 年 1 月～2023 年 12 月に当院で片肺全摘術、肺葉切除、肺区域切除術を受けられた方

2. 研究目的・方法

【目的】

心臓血管外科医が常勤していない施設では緊急的に心肺補助装置は使用できず、危機的出血に対しては呼吸器外科医の十分な備えと適切な対応がより重要となる。肺動脈損傷時に肺門確保を要する場面があるが、緊急時に肺門確保することは容易ではなく二次損傷を招き得る。当院で行なった解剖学的肺切除術について肺動脈損傷の頻度、および出血時の対応を振り返り、今後の手術の安全性を高める。

【方法】

2019 年 1 月～2023 年 12 月に解剖学的肺切除を施行した 520 例を対象に術中肺動脈損傷の件数、手術アプローチ、術式、出血部位、出血原因、止血方法、開胸コンバートの有無、出血前/出血後の肺門確保の有無等について検討する。また、出血後に肺門確保を行なった症例について肺門確保までの操作を検討する。

3. 研究期間

(倫理審査委員会承認日) ～ 2026 年 12 月 31 日

4. 研究開始の予定日 (研究のために情報を利用開始する予定日)

2025 年 2 月 24 日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報: 病歴、年齢、術式、リンパ節郭清の有無、手術時間、出血量、術中トラブルの有無、術後合併症の有無、止血剤使用の有無、使用した止血剤の種類、開胸コンバートの有無、その他術中操作の詳細、カルテ番号、生年月日、 等

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151（代表）（内線 974）

研究責任者：

宮城県立がんセンター呼吸器外科 矢吹 皓